

## 第二回重点都道府県等エイズ対策担当課長連絡協議会

平成19年4月23日(月) 14:00～17:00

三田共用会議所第4特別会議室

### 次 第

- 1 あいさつ  
厚生労働省健康局疾病対策課長 梅田珠実
- 2 エイズ予防指針改正後の取り組み～自治体のモニタリングについて～  
厚生労働省健康局疾病対策課課長補佐 秋野公造
- 3 研究の視点からのモニタリングについて
  - (1) 「普及啓発及び教育」  
京都大学大学院教授 木原正博氏
  - (2) 「検査体制の充実」  
神奈川県衛生研究所長 今井光信氏
  - (3) 「医療提供体制の再構築」  
国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター長 岡 慎一氏
- 4 エイズ予防財団の取り組み  
エイズ予防財団 柏崎正雄氏
- 5 東京都の施策紹介  
東京都福祉保健局健康安全室副参事 野原永子氏
- 6 平成19年度HIV検査普及週間について  
厚生労働省健康局疾病対策課課長補佐 三好英文

### 配布資料

- |       |   |
|-------|---|
| 資料1   | エイズ予防指針改正後の取り組み                               |
| 資料2   | 研究者の視点からのモニタリングについて                           |
| 資料3   | HIV検査体制の充実—全国保健所アンケートの結果から—                   |
| 資料4   | 医療提供体制の再構築                                    |
| 資料5   | エイズ予防財団の取り組み                                  |
| 資料6   | 東京都のエイズの現状と対策                                 |
| 資料7-1 | 平成19年度HIV検査普及週間について                           |
| 資料7-2 | 平成19年度HIV検査普及週間の活動案                           |
| 資料7-3 | 平成19年度のHIV検査相談体制及びHIV検査普及週間の取り組みについて(重点都道府県等) |
| 資料7-4 | 平成19年度「HIV検査普及週間」実施要項                         |
| 資料7-5 | 重点都道府県等におけるHIV抗体検査実績と検査普及週間の取り組みについて          |
| 別添    | 地方自治体のエイズ啓発プログラムのためのガイドライン                    |

(別紙2) 第二回重点都道府県等エイズ対策担当課長連絡協議会 実施内容及びタイムスケジュール

時間	(分)	実施内容	講師等(敬称略)	実施場所
14:00	(05)	開会挨拶	厚生労働省健康局疾病対策課長 梅田 珠実	三田共用会議所 (東京都港区三田 2-1-8)
14:05	(20)	エイズ予防指針改正後の取り組み ～自治体のモニタリングについて～	厚生労働省健康局疾病対策課 課長補佐 秋野公造	
14:25	(35)	普及啓発及び教育	京都大学大学院医学研究科 教授 木原正博	
15:00	(35)	検査体制の充実	神奈川県衛生研究所長 今井光信	
15:35	(35)	医療提供体制の再構築	国立国際医療センターエイズ治療開発 研究センター長 岡慎一	
16:10	(10)	(休憩)		
16:20	(10)	(財)エイズ予防財団の取組み	エイズ予防財団 柏崎正雄	
16:30	(15)	東京都における施策紹介	東京都福祉保健局健康安全室副参事 野原永子	
16:45	(15)	平成19年度HIV検査普及週間について	厚生労働省健康局疾病対策課 課長補佐 三好英文	
17:00		閉会		
17:10	(40)	移動開始		コミュニティ センターakta  (東京都新宿区 新宿2-15-13 第2中江ビル301)
17:50		コミュニティセンターakta 到着		
17:50	(70)	現場見学及び講演	名古屋市立大学 教授 市川誠一	
19:00		akta視察終了	Rainbow Ring 張由紀夫	
19:00	(20)	移動開始		東京都南新宿検 査・相談室  (東京都渋谷区 代々木2-7-8東京 南新宿ビル3階)
19:20		東京都南新宿検査・相談室 到着		
19:55	(25)	休憩		
		東京都南新宿検査・相談室1階 集合		
20:00	(15)	検査・相談現場案内 (1班)	東京都/東京都医師会 小島弘敬 今井敏幸	
20:15	(15)	概要説明 (2班)		
20:30		一切終了		

※ 現場視察時の班分けは当日お知らせします

aktaでの現場案内及び概要説明

- (1) akta内の案内
- (2) 概要説明
  - ・新宿二丁目におけるゲイ・コミュニティの現状
  - ・aktaの取り組みと成果
  - ・aktaにおける今後の課題

南新宿検査・相談室での現場案内及び概要説明

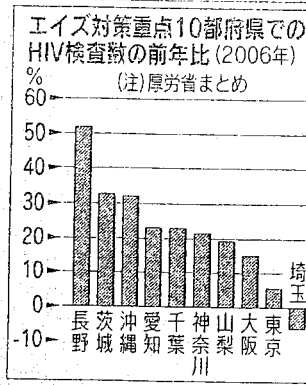
- (1) 検査・相談の流れ
- (2) 概要説明
  - ・事業概要と実績
  - ・検査相談体制
  - ・検査・相談室における今後の課題

日経新聞 H19. 4. 29 朝刊

# HIV検査取り組みに差

## 昨年 長野51%増、埼玉6%減

厚労省集計



エイズ対策重点10都府県でのHIV検査数の前年比(2006年)  
(注)厚労省まとめ

厚生労働省が、エイズ対策の強化が必要だとし、重点指導の対象に昨年選定した十都府県のHIV抗体検査の実施数を調べたところ、長野県では選定後、前年より50%以上増えた一方、埼玉県は前年比マイナスとなるなど、取り組みに大きな差があることが、同省の集計で二十八日、分かった。

保健所などで無料で行われているHIV検査は、陽性者を早く発見し早期治療につなげる重要な対策。厚労省は「伸びが足りない都府県はもっと努力を」と話している。厚労省は昨年二月、新規感染者・患者の人口比が全国平均を上回ったり、感染者が多かったりする十都府県と六市を重点自治体に選定し、

指導に乗り出した。十都府県の二〇〇六年の検査数を選定前の〇五年と比べ、増加率を算出すると、長野が五・七%で首位、最下位の埼玉は六・〇%のマイナスだった。長野県は、県内全保健所で迅速検査を導入し検査態勢を強化。「年齢が高い人の感染が目立つので働き盛りへの啓発を強化したい」と話す。

埼玉県は「集計ミスがあり、正しくは〇・四%の増加」と説明。検査件数が伸びなかった理由については「隣の東京で検査をする人が多かったため」としている。

琉球新報 H19. 4. 29 朝刊

## 重点10都府県の前年比

# エイズ検査対応に地域差

厚生労働省が、エイズ対策の強化が必要だとし、重点指導の対象に昨年選定した十都府県のHIV抗体検査の実施数を調べたところ、長野県では選定後、前年より50%以上増えた一方、埼玉県は前年比マイナスとなるなど、取り組みに大きな差があることが、同省の集計で二十八日分かった。保健所などで無料で行われているHIV検査は、陽性者を早く発見し早期治療につなげる重要な対策。厚労省は「伸びが足りない都府県はもっと努力を」と話している。厚労省は昨年二月、新規感染者・患者の人口比が全国平均を上回ったり、感染者・患者数が多かったりする十都府県と

## 沖縄 32%増加、埼玉はマイナス

六市を重点自治体に選定し、指導に乗り出した。十都府県の〇六年の検査数を選定前の〇五年と比べ、増加率を算出すると、長野が51・7%で首位、茨城(32・0%)、沖縄(32・0%)が続いた。最下位の埼玉は6・0%のマイナスだった。長野県は、県内全保健所で迅速検査を導入し検査態勢を強化。「年齢が高い人の感染が目立つので働き盛りへの啓発を強化したい」と話す。埼玉県は「集計ミスがあり、正しくは〇・4%の増加」と説明。それでも最下位は動かないが、検査件数が伸びなかった理由については「隣の東京で検査をする人が多かったため」としている。

## 平成19年度HIV検査普及週間の実施について

### 1 目的

国や都道府県等が行う検査・相談体制の充実を図る取組みを強化することにより、国民のHIVやエイズに対する関心を喚起し、もってHIV検査の浸透・普及を図るため、キャンペーン活動等を実施する。

### 2 期間

平成19年5月28日（月）から6月7日（木）まで  
（週間 6月1日から6月7日まで）

### 3 厚生労働省が実施するイベント等の概要

#### (1) トークライブ及び街頭キャンペーン

山本シュウ氏、森脇健児氏、TKO、アメリカザリガニ、安田大サーカス、田中さなえ氏によるイベントを実施するとともに、エイズ予防財団を中心にボランティア等の協力を得て、チラシやパンフレット、グッズ等をセットにして街頭にて配布

実施日及び実施場所（詳細は別紙1参照）

#### ① 5月28日（月曜日）

東京都（池袋〈西口公園〉、渋谷〈ハチ公口広場〉  
新宿〈歌舞伎町広場〉）

#### ② 5月30日（水曜日）

愛知県（名古屋市中区 栄小公園）

#### ③ 5月31日（木曜日）

大阪府（大阪市中央区 アメリカ村三角公園—御津公園）

#### (2) ラジオによる普及啓発

OHIV検査普及週間の実施の告知と絢香さんからHIV検査への呼びかけのコメントをFMの番組又は番組間で放送する。

○放送予定局 東京FM、FM愛知、FM大阪、FM富士、FM長野、FM沖縄

(3) ポスター・パンフレットによる啓発

①啓発ポスターの配布

○自治体、保健所等 約45,000部

②交通広告の掲示

JR、私鉄及び地下鉄各線 約22,000部

③啓発パンフレットの配布

自治体、保健所、拠点病院等 約200,000部

(4) エイズ予防財団の媒体による情報提供

①エイズ予防情報ネット(API-NET) [URL http://api-net.jfap.or.jp/](http://api-net.jfap.or.jp/)

○トップページでの周知

○検査実施機関の詳細、各機関の週間中のイベント等の紹介

②エイズレポート

○週間についての記事の掲載

4 平成19年HIV検査普及週間における検査・相談体制

別紙2参照

(1) 5月28日(月) 13:30~20:00

出演者 山本シュウ氏、TKO、安田大サーカス

①記者会見

厚生労働省9階会見室(13:30~13:50)

山本シュウ氏、安田大サーカス、アメリカザリガニ、TKO、厚生労働省、エイズ予防財団

②池袋 西口公園

街頭キャンペーン(14:30~16:00)

ライブトーク(15:00~16:00)

③渋谷 ハチ公口広場

街頭キャンペーン(16:30~18:00)

ライブトーク(17:00~18:00)

④新宿 歌舞伎町広場

街頭キャンペーン(18:30~20:00)

ライブトーク(19:00~20:00)

※新宿でのイベント終了後、20分程度の取材

山本シュウ氏、TKO

※なお、安田大サーカスへの取材は、出演時間の関係上、別途ご相談ください。

**(2) 5月30日(水) 13:30~18:00**

出演者 森脇健児氏、TKO、田中さなえ氏

①記者会見

愛知県庁 (13:30~13:50)

森脇健児氏、TKO、田中さなえ氏、厚生労働省  
愛知県、名古屋市、エイズ予防財団

②栄小公園 (名古屋市中区)

街頭キャンペーン (15:30~18:00)

ライブトーク1回目 (15:00~16:00)

ライブトーク2回目 (17:00~18:00)

※イベント終了後、20分程度の取材

森脇健児氏、田中さなえ氏

**(3) 5月31日(木) 15:00~18:00**

出演者 山本シュウ氏、TKO、アメリカザリガニ

アメリカ村三角公園 - 御津公園 (大阪市中区)

街頭キャンペーン (14:30~18:00)

ライブトーク1回目 (15:00~16:00)

ライブトーク2回目 (17:00~18:00)

※イベント終了後、20分程度の取材

山本シュウ氏、TKO、アメリカザリガニ

## 平成19年度HIV検査普及週間における検査・相談体制（平成19年5月25日現在）

	夜間検査		休日検査		迅速検査		イベント 週間
	平常	週間	平常	週間	平常	週間	
1 北海道		●		●	○	○	○
2 青森県					○		
3 岩手県	○		○	●	○	●	○
4 宮城県		●		●		●	
5 秋田県	○	●			○	●	○
6 山形県		●		●	○	●	○
7 福島県	○				○		
8 茨城県	○				○		○
9 栃木県	○	●	○		○	●	
10 群馬県	○				○		○
11 埼玉県	○		○		○		○
12 千葉県	○	●			○	●	○
13 東京都	○		○		○	●	○
14 神奈川県	○	●	○	●	○	●	○
15 新潟県	○	●	○	●	○		○
16 富山県		●			○	●	
17 石川県	○		○	●	○	●	○
18 福井県	○	●		●	○	●	
19 山梨県	○	●			○	●	○
20 長野県	○	●		●	○	●	○
21 岐阜県					○		
22 静岡県	○	●			○	●	
23 愛知県	○			●	○	●	○
24 三重県	○	●			○	●	
25 滋賀県	○				○	●	
26 京都府	○	●			○	●	○
27 大阪府	○	●	○	●	○	●	○
28 兵庫県			○		○		○
29 奈良県	○	●		●	○	●	
30 和歌山県	○			●	○	●	
31 鳥取県		●	○	●	○	●	
32 島根県					○		○
33 岡山県		●					○
34 広島県		●	○	●	○	●	
35 山口県	○	●	○		○	●	
36 徳島県					○		
37 香川県		●		●	○	●	
38 愛媛県		●		●	○	●	
39 高知県	○	●					
40 福岡県		●			○		
41 佐賀県	○	●		●	○	●	
42 長崎県	○			●	○	●	
43 熊本県	○	●		●	○	●	
44 大分県		●		●	○	●	
45 宮崎県	○			●	○	●	
46 鹿児島県		●		●	○		
47 沖縄県	○	●		●	○	●	○
48 札幌市	○		○		○		
49 仙台市	○			●	○	●	○
50 さいたま市	○			●		●	○
51 千葉市	○	●					
52 川崎市			○		○	●	
53 横浜市	○	●	○		○		○
54 新潟市		●	○		○	●	
55 静岡市	○	●			○	●	○
56 浜松市	○		○				
57 名古屋市	○		○	●	○	●	○
58 京都市	○		○		○		
59 大阪市	○	●	○	●	○	●	○
60 堺市	○						
61 神戸市	○		○		○	●	○
62 広島市	○	●			○	●	
63 福岡市	○				○		○
64 北九州市	○		○	●	○		

○…平常から実施している自治体（19年度開始予定含む）

●…検査普及週間に実施を強化する自治体

\*迅速…迅速検査キットを使い即日の結果を返している自治体

夜間…保健所閉所（17:00）以降に検査を実施している自治体  
休日…土日に検査を実施している自治体

	夜間検査		休日検査		迅速検査		イベント 週間
	平常	週間	平常	週間	平常	週間	
65 旭川市	○			●	○	●	
66 函館市					○		
67 青森市					○		
68 秋田市	○	●			○	●	
69 郡山市	○		○		○		
70 いわき市	○	●	○		○	●	
71 宇都宮市		●	○		○	●	
72 川越市	○			●	○		
73 船橋市			○	●	○	●	
74 横須賀市	○				○	●	○
75 相模原市					○	●	
76 富山市		●		●	○	●	
77 金沢市	○		○	●	○	●	○
78 長野市	○			●	○	●	
79 岐阜市	○				○		
80 豊田市	○		○	●	○	●	○
81 岡崎市	○	●			○	●	
82 豊橋市		●		●	○	●	○
83 高槻市		●					○
84 東大阪市		●					○
85 姫路市	○		○	●	○	●	
86 奈良市				●	○	●	
87 和歌山市	○			●	○	●	
88 岡山市	○	●					
89 倉敷市		●					
90 下関市	○			●			
91 福山市	○			●	○		○
92 高松市	○	●					
93 松山市	○			●			
94 高知市	○						○
95 長崎市		●			○	●	○
96 熊本市	○	●	○		○		
97 大分市	○	●	○	●	○	●	
98 宮崎市	○			●	○	●	
99 鹿児島市	○			●	○	●	
100 小樽市		●			○	●	
101 尼崎市		●					
102 西宮市	○	●			○	●	
103 呉市		●					
104 大牟田市					○		○
105 佐世保市	○		○		○		○
106 藤沢市		●				●	○
107 千代田区							
108 中央区							
109 港区	○	●	○	●			○
110 新宿区		●					○
111 文京区							○
112 台東区							
113 墨田区							
114 江東区							●
115 品川区							○
116 目黒区							○
117 大田区							
118 世田谷区		●					
119 渋谷区							○
120 中野区							
121 杉並区			○				○
122 豊島区					○	●	○
123 北区						●	
124 荒川区							
125 板橋区							
126 練馬区						●	○
127 足立区					○	●	
128 葛飾区					○	●	
129 江戸川区					○		

中核市（35）  
保健所設置市（7）  
特別区（23）

計	71	59	34	46	91	69	51
割合(%)	55.5	46.1	26.6	35.9	71.1	53.9	39.8



## 平成19年度「H I V検査普及週間」実施要綱

### 1 趣 旨

H I V感染者・エイズ患者新規報告数は、依然として増加傾向にある。平成16年にはじめて1,000件を突破した新規報告数は平成17年も前年を上回り、平成19年2月7日に開催されたエイズ動向委員会の発表によると、平成18年（速報値）においても続けて過去最高を記録するなど、予断を許さない状況となっている。

また、診断時には既にエイズを発症している事例が約3割を占めており、これは、早期発見のための検査機会を逸していることによるものと考えられる。

これまでも保健所や検査室等においては、無料・匿名でH I V検査を行うとともに、利用者の利便性に配慮した検査・相談体制の構築を進めてきたが、今後はより一層こうした取組みの推進が求められている。

そこで、H I V検査普及週間（以下「本週間」という。）を機会に、国や都道府県等（都道府県、保健所を設置する市及び特別区を言う。以下同じ）が行う検査・相談体制の充実を図る取組みを強化することにより、国民のH I Vやエイズに対する関心を喚起し、もってH I V検査の浸透・普及を図ることとする。

### 2 期 間

平成19年6月1日（金）～7日（木）

### 3 主 唱

厚生労働省・財団法人エイズ予防財団

### 4 主 題（キャッチフレーズ）

各都道府県等によって適宜定めるものとする。

なお、H I V検査ではなく、広く理解されやすくなるよう「エイズ検査」という名称を用いても構わない。

（例：「エイズ検査は、あなたにも必要です」等）

### 5 実施方法

#### (1) 厚生労働省・財団法人エイズ予防財団

本週間に係る全国的なキャンペーン活動を行うとともに、期間内における検査の日程及び会場等について、プレス発表等を通じて全国一斉に紹介することにより、広くH I V・エイズに対する関心の喚起を図る。

また、H I V検査や相談・カウンセリングに係るマニュアル等を作成するなど、

検査や相談に係る情報提供を行うことにより、都道府県等が行う検査・相談に対する技術的支援を行う。

## (2) 都道府県等

検査受診者の立場に立ち、地域における特性を踏まえながら、利便性やサービス向上に配慮した検査・相談体制の整備促進を図り、これにより、H I V検査が地域住民にとって身近なものと捉えられるよう環境整備に努めること。

具体的には、平日夜間や土日における検査といった時間外検査や、迅速検査の実施はもとより、H I V検査の普及を図るため、イベント等集客の多い機会と連動した検査の実施などを行う。

また、エイズに係る正しい知識の普及啓発を進めるとともに、検査・相談の利用に係る情報につき、積極的な広報に努める。

## 6 留意事項

H I V検査や相談に当たっては、検査受診者のプライバシーの保護に十分配慮するとともに、検査前及び検査後の相談の機会を、受診者個々人の行動変容を促す絶好の機会と位置付け、適切な相談を行うよう努めること。また、陽性が判明した場合については、医療機関の紹介等にあたり十分に説明する等配慮すること。

## 7 その他

なお、本週間における当検査・相談の実施については保健事業費等国庫負担（補助）金「特定感染症検査等事業（H I V抗体検査及びエイズに関する相談事業）」の補助対象であること、また検査・相談とあわせて行うイベント等については、「エイズ対策促進事業」の補助対象であることを申し添える。

# HIV検査普及週間の実施内容

## (1)トークライブ及び街頭キャンペーン

HIV検査普及週間の告知及びHIV検査の浸透・普及のため、山本シュウ氏や松竹芸能のタレントによるトークライブ及びNGOやボランティア団体、企業等による街頭キャンペーン(パンフレット、啓発グッズ等の配布)の実施。

実施場所等 5月28日 東京(池袋、渋谷、新宿) 5月30日 名古屋(栄小公園) 5月31日 大阪(アメリカ村)

## (2)ラジオによる普及啓発

HIV検査普及週間の実施の告知と絢香さんからのHIV検査への呼びかけメッセージの放送

放送局 東京FM、FM愛知、FM大阪、FM富士、FM長野、FM沖縄

## (3)その他

- ポスター・パンフレットによる啓発  
自治体、保健所、交通広告等
- エイズ予防財団の媒体による情報提供  
エイズ予防情報ネット、エイズリポート
- インターネット上での啓発活動  
ヤフーとの連携、セカンドライフ内での告知



## HIV:検査普及へセカンドライフで「コンドーム」配布 絢香、安田大サーカスも協力

5月28日20時49分配信 毎日新聞 まんたんウェブ

HIV検査普及週間(6月1日～7日)を前に厚生労働省は28日、お笑いタレントの安田大サーカスらが東京・新宿の歌舞伎町広場などに登場するトークイベントを実施。1日からは世界で600万人以上が登録するオンラインゲーム「セカンドライフ」でコンドームのアイコン配布や、歌手の絢香さんが全国FMラジオを通じて呼びかけ、検査の必要性を訴える。

(ゲーム内で配布されるコンドームのアイコンの画像はこちら)

同週間は、無料のHIV検査を普及するため、夜間や休日の検査を全国で実施するもの。東京のほか、30日に名古屋(栄小公園)、31日に大阪(アメリカ村三角公園など)で、お笑いコンビのアメリカザリガニらが街頭でキャンペーンを展開する。また、セカンドライフ内では期間中、PR会社ベクトルの「プレスセンター」で、コンドームのアイコンを無料配布する。

同日開かれた会見で、安田大サーカスのHIROさんは「コンドームをつけましょう。コンドームは大事!」と叫んでいた。【河村成浩】

## 「Second Life」内でHIV予防キャンペーン～コンドームの着ぐるみ配布

5月28日19時33分配信 impress Watch

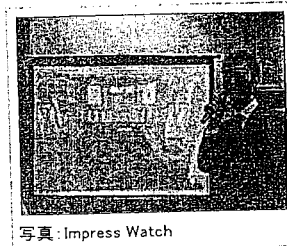


写真: Impress Watch

ベクトルは米リンデン・ラボが運営する仮想空間「Second Life」内でHIV検査普及を目的としたキャンペーン「レッドリボンウィーク in セカンドライフ」を6月1日より開始する。

「レッドリボンウィーク in セカンドライフ」は、広報事業を手がけるベクトルがSecond Life内に設置した「PRESS CENTER」で実施する。6月1日から6月7日までのHIV検査普及週間には、PRESS CENTER内にレッドリボンの掲示を行ない、来場者にコンドームの形をした着ぐるみを無償配布する。

Second Life内のキャンペーンは、5月1日から6月7日まで、厚生労働省とエイズ予防財団が民間の協力も呼びかけて実施する「HIV検査普及週間の」キャンペーンの一環として協力するもの。HIV検査はふだんから無料かつ匿名で受けられるが、HIV検査普及週間中は通常1週間ほどかかる結果を当日中に知らせる迅速検査や、夜間・休日受診を強化するなど、HIV検査を受けやすい体制を充実させる。

ネット関連では、ベクトルのほか、Yahoo!JAPANもHIV検査普及週間に協力。安田大サーカスなどのHIVに関する短い新ネタをHIV検査普及週間に動画配信を行なうほか、2006年と同様にレッドリボンキャンペーンのページを開設して周知に協力するという。

発表会には、レッドリボンライブ2006をプロデュースするなど、HIV予防のために積極的な活動を行なっているDJの山本シュウ氏が出席。「昨年は毎日3.0人だったHIV感染者が、今年は毎日3.7人に増えている。日本のHIV感染者はずっと右肩上がり増加しておりWHOにも名指しで注意を受けているほど。HIVの検査は、無料で匿名で受けられるということをもっと多くの人に知ってほしい」とコメントした。

また、6月1日からのHIV検査普及週間に先がけて、5月28日から行なう街頭キャンペーンに協力する安田大サーカス、アメリカザリガニ、TKOのメンバーも記者会見に出席。2006年のレッドリボンライブの際にHIV受診した時の体験なども交えながら「HIV検査を受診しましょう」「コンドームをつけましょう!」と検査の受診とHIV感染予防のためのコンドーム装着を呼びかけた。

朝日新聞 H19. 5. 29 朝刊

「エイズ検査受けて」  
タレントら会見  
エイズウィルス(HI

V)検査普及週間(6月1～7日)を前に、ラジオDJの山本シュウさんやお笑い芸人トリオの安田大サーカスらが28日、厚生労働省で記者会見し、HIV検査を受けるよう呼びかけた。  
期間中、一部の保健所で夜間・休日の検査や1時間で結果が出る迅速検査などを実施する。詳しくはエイズ予防情報ネットワーク(<http://api-net.jp/ap.or.jp>)。